

6770/6771/6772 簡易操作ガイド

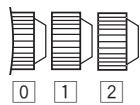
・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  6770/6771/6772 取扱説明書

各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

りゅうずの位置



時刻と曜日を合わせる

この時計には、24 時間針、時針、分針、秒針で時刻を表示する時計 (基本時計) のほかに、音で時刻をお知らせする副時計が内蔵されています。

1. 秒針が 0 秒を指しているときに、りゅうずの位置を [2] にする

秒針が止まります。

- ・年針と月針が、副時計の時刻を表示します。年針が「時」、年月針が「分」に相当します。

基本時計の時刻と曜を合わせる

2. りゅうずを回して、曜針を合わせる

- ・時針、分針、24 時間針は連動します。
- ・時針を午後 9 時から午前 1 時の間を往復させるようにりゅうずを左右に回すと、曜針が早く動きます。

3. りゅうずを回して、基本時計の時刻を合わせる

- ・24 時間針を見て、午前午後の違いに注意します。

副時計の時刻を合わせる

4. ◎ ボタンまたは ◎ ボタンを押して、副時計の時刻を合わせる

- ・◎ ボタンを押すごとに月針が 1 分ずつ進み、◎ ボタンを押すごとに 1 分ずつ戻ります。
- ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。
- ・副時計の時と分は連動します。午前午後の区別はありません。

5. 時報に合わせて、りゅうずの位置を [0] にする

秒針が動きはじめ、年針と月針がカレンダー表示に戻ります。

音で時刻を確認する

- ・クロノグラフ使用中は、音で時刻を確認できません。

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. ◎ ボタンを押す

高低 2 種の音で副時計の時刻を知らせます。

- ・音による時刻は、「時」、「15 分」単位の分、「1 分」単位の分の 3 つから構成されます。

- ・音の意味

高さ	長さ	意味
高い	長い	「時」
低い	長い	「1 分」
高低の組み合わせ	短い 2 音	「15 分」

- ・例：4 時 36 分の場合

	①	②	③	④	①	②	①	②	③	④	⑤	⑥
高音	♪	♪	♪	♪	♪	♪						
低音							♪	♪	♪	♪	♪	♪
時間	4 時				15 分× 2		6 分					
時刻	4 時				36 分							

年、月、日を合わせる

- ・この時計のカレンダーは、うるう年を含む 2100 年 2 月 28 日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)
- ・曜は、基本時計の時刻合わせと同時に合わせます。

1. りゅうずの位置を [1] にする

2. ◎ ボタンまたは ◎ ボタンを押して、月針と年針を合わせる

- ・◎ ボタンを押すごとに月針が 1 月ずつ進み、◎ ボタンを押すごとに 1 月ずつ戻ります。
- ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。
- ・年針と月針は、連動します。
- ・年の表示は、うるう年からの経過年数で示されます。うるう年からの経過年については、サポートページに詳しく解説があります。



3. ◎ ボタンを押して、日針を合わせる

- ・◎ ボタンを押すごとに、針が 1 日ずつ進みます。
- ・ボタンを押し続けると、連続して進みます。

4. りゅうずの位置を [0] にして終了する

月齢表示を合わせる

1. 隠しボタンを押して、月齢表示を合わせる

- ・月齢は新聞などを参考にします。

新月 (New moon) 月齢 0 (大潮)	上弦 月齢 約7 (小潮)	満月 (Full moon) 月齢 約15 (大潮)	下弦 月齢 約22 (小潮)

- ・月齢表示は目安としてご利用ください。
- ・モデルによって表示が異なる場合があります。
- ・新月や満月のときは、より正確に合わせることができます。

クロノグラフを使う

- ・1/4 秒単位、最大 12 時間まで使用できます。
- ・クロノグラフ使用中も、月針と年針以外は通常に動作します。
- ・りゅうずの位置を変えると、クロノグラフはリセットされます。

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. © ボタンを 2 秒間以上押す

月針 (クロノグラフ分針) と年針 (クロノグラフ時計) が 12 時位置に動き、クロノグラフが使えるようになります。
 スタート/ストップ: © ボタンを押します。
 リセット: ストップ中に、Ⓐ ボタンを押します。

スプリット計測をするには

- 計測中に Ⓐ ボタンを押します。
 クロノグラフの各針が停止して、スプリットタイムが表示されます (計測は続いています)。
- ・もう一度 Ⓐ ボタンを押すとスプリットタイムの表示は解除され、計測表示に戻ります。
 - ・スプリットタイム表示中に © ボタンを押すと、計測は終了します。
 Ⓐ ボタンを押すと、計測終了までの総経過時間が表示されます。

計測終了後は

- © ボタンを 2 秒間以上押します。
 月針と年針がカレンダー表示に戻ります。

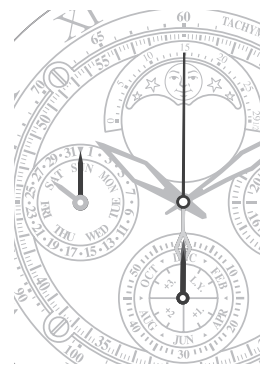
基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. © ボタンを 2 秒間以上押す

年針、月針、クロノグラフ秒針が動き出し、現在の基準位置が表示されます。

- ・正しい基準位置
 年針: 12 時位置
 月針: 12 時位置
 クロノグラフ秒針: 12 時位置



3. Ⓐ ボタンを 2 秒間以上押す

日針が動き出し、現在の基準位置が表示されます。

- ・正しい基準位置
 日針: ▼ (31 と 1 の間)

各針の現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

4. © ボタンを 2 秒間以上押す

各針が現在のカレンダー表示に戻ります。

基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を [2] にする

秒針が止まります。

2. Ⓐ ボタン、© ボタン、© ボタンを同時に押す

クロノグラフ秒針、日針、年針、月針が順番に動いたあと、確認音が鳴ります。

3. Ⓐ ボタンを押して、年針と月針を 12 時位置に合わせる

- ・Ⓐ ボタンを押すごとに、針が 1 月ずつ進みます。
- ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。
- ・年針と月針は、連動します。

4. © ボタンを押して、クロノグラフ秒針を 12 時位置に合わせる

- ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。

5. © ボタンを押して、日針を「▼」に合わせる

- ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。

6. りゅうずの位置を [0] にして終了する

- 秒針が動きはじめます。
- ・時刻、カレンダーを合わせ直してください。

日針が反時計回りに回転しているときは

手順 2 を行ったあと、基準位置を修正しないでりゅうずの位置を [0] や [1] にすると、日針が反時計回りに回転します。
 手順 1 から再度基準位置の修正を行ってください。